

観光立国を担う人材の育成に向けて(概要) ～産学官の連携強化を～

1. はじめに

大きな経済波及効果と雇用吸収力を持つ観光産業は、わが国経済を牽引する可能性を秘めている
実効ある観光政策の立案および業界の高度化を推進できる人材の育成が不可欠

2. 観光分野における人材育成の現状と課題

(1) 観光分野で求められる 人材の多様化

グローバル化にともない、外国から観光客を日本に呼ぶ、また第三国へ送り出すなどの事業の拡大が見込まれるなか、海外で活動する現地スタッフの質的向上が課題。

ローカル化にともない、観光客の地方への関心に応えられる、地域の実情に精通した人材が必要。

(2) 観光分野における 人材供給のミスマッチ

観光系学部・学科は、近年急増しているが、卒業生の観光関係分野への就職は23%。
その理由として、
受け皿となる就職先が地域に不足
企業が求める人材が育成されていない

3. 観光に携わる人材の育成・活用

(1) 地域の観光振興策を 立案・実施する人材の育成

地域に密着し、その地域の観光資源を発掘して観光振興を行う人材を育成・活用できる仕組みが必要。

提言 地域の専門家を育てる教育の拡充

- 地域に根差した知識・経験を重視したカリキュラムを策定

提言 自治体等によるインターンシップの拡充

- 自治体等は学生インターンシップを積極的に受入れ、大学もインターンシップを必修化

提言 観光専門職(仮称)の創設

- 各自治体において、観光政策の専門職員を採用・育成

提言 地域における人材交流

- 自治体、観光協会、NPO等が連携して人材交流を展開

提言 人材バンクの創設

- 地域の観光振興に取り組む意欲のある若者やシルバー人材を育成・活用する機関を創設

提言 通訳案内士制度の改善

- 資格を難易度別、分野別に階層化し、取得しやすく、かつ観光客のニーズに応えるものに

提言 在外公館等の活用

- 訪日観光PR活動の強化に、在外公館等を活用

(2) 観光業に携わる人材の育成

マネジメント力、企画力、行動力のある経営系人材、実務人材の育成が重要。

提言 企業の経営・実務人材を育てる教育の拡充

- マーケティングや企業戦略など、企業経営・実務に不可欠な科目を充実

提言 観光学部・学科と業界の協力

- 社員の講師派遣、寄附講座、共同研究等

提言 企業インターンシップの拡充

- 産学一体となってインターンシップを展開し、大学もインターンシップを必修化

提言 企業におけるOJT、Off-JTの充実

- 観光業界と経営大学院がマネジメント研修プログラムを共同開発、観光MBAを開設

提言 アジア人留学生の活用

- アジア人留学生の中から、日本の観光資源や観光業のノウハウに精通した人材を育成し、企業も積極的に採用